

高山植物

校閲
脚本
撮影

瀬戸 剛
日浦 勇
辻本 修

製作 大阪市立自然科学博物館

写真
提供

生谷義一氏 (大阪学大)
井上すみ子氏 (阪大蛋白研)
藤田和夫氏 (大阪市大)
辻本 修

ウツボ プロダクション

描画
音楽
送定

千地万造
日浦 勇
千地万造

コマ数 50

時 間 10分

ナレト 追手門学院高校放送部

1 クレジットタイトル



大

2 タイトル

高山植物

高山植物

大

3

山の景観

中部地方には、「日本アルプス」とよばれる高い山々が^{いたなき}つらなり、その頂^{いたなき}近^{いたなき}くのお花畑にはさまざまな高山植物が咲きみだれています。

登りながら山の草木を見学してみましょう。

大

4

カラマツ林

山裾の旅館のまわりには、

カラマツの林や、

中

5 シラカバ林	シラカバの林があり、	中
6 カラムツソウ	林のとぎれた場所には、丈高い草がしげっています。 これは カラムツソウ	中
7 トリカブト	トリカブト	中 大
8 落葉広葉樹林	登山道にはいってしばらくは、ブナやミズナラの林がつづきます。草 草みどり色のうすい葉をとおして、日の光が林の中にさしこみ、下草が 明るい林床にしげっています。 冬は落ち葉する「落葉広葉樹林」です。	川

9 針広混雑林	しだいに針葉樹が混ってきました。	中
10 針葉樹林	針葉樹林——暗い感じの木と林です。	中
11 ハリブキ	下草に そろそろ平地とはちがう草が あらわれてきます。 トゲのある ハリブキ	中
12 ゴゼンタチバナ	ゴゼンタチバナ	中

13

ダケカンバ

さらに高く登ると、針葉樹が少なくなって
ダケカンバの林になります。
ここをすぎると、もう、丈の高い木はありません。

ハ

14

高山帯の景観

緑のジュウタンをしいたような ハイマツの原に出ました。
これらが高山帯です。お花畑もすぐそこです。
お花畑に入る前に、登り路でみた いろんな林のおさらいをしてみましょう。

大

ハ

15

垂直分布帯

平地はカシヤシイなどの林——常緑広葉樹林の領域です。大友などもこの領域
にふくまれています。中部地方では標高500mほどから、これにかわって、ブナ・ミズナラ・
カエデなどの明るい落葉広葉樹林がしげっています。さらに1500m位から針葉樹林とな
り、コメツガ・トウヒ・シラビソ・オオシラビソなどがしげり、上の方にはダケカンバの林がみられます。
2500m位から上は、もう丈の高い木がなく、背の低いハイマツや、お花畑や地衣や、石ころばかりと
なります。ここが高山帯で、林のしげる限界を森林限界といいます。

ハ

16

ハイマツ

ハイマツは高山帯を代表する植物です。
遠くからみると 緑のじゅうたんのように見えるハイマツも、中にははいると
横切ることも出来ないブッシュです。

ハ

17 雪溪とお花畑	凹んだ斜面に雪溪がのこり、雪どけ水にうるおう原が、一面のお花畑となります。	中
18 ハクサンイチゲと ミヤマキンバイ	ハクサンイチゲにミヤマキンバイ	中
19 ハクサンイチゲ	ハクサンイチゲ	中
20 ハクサンチドリ	ランの1種——ハクサンチドリ	中 / 大

21

高尾湿原

地勢がゆるやかで水の供給の多い場所には、ミズゴケがはえた湿原があります。

白い穂はワタスゲ——水中から葉を出しているのが ミツガシワ

大

22

ミズバショウ

有名なミズバショウは、こんなところに生えます。

大

23

イブキトラノオ

湿りぐあいの適当な所は、花の種類の多い 美事なお花畑が発達します。

沢山さいているのが イブキトラノオ

中

24

ウサギギク

ウサギギク

中

25

イワギキョウ

イワギキョウ

中

26

チングルマ

チングルマ

中

27

タカネナデシコ

タカネナデシコ——平地のカワラナデシコに似ていますが、花びらのふちが深く切れこみ、色もあざやかでエレガントにみえます。

中

28

ヨツバシオガマ

ヨツバシオガマ

中

29

クロユリ

伝説で名高い クロユリ

立山や白山にみぎらず、あちこちにみられます

中

30

イワツメクサ

イワツメクサ

中

31

ミヤマリンドウ

ミヤマリンドウ

中

32

トウヤクリンドウ

トウヤクリンドウ

中

33	コケモモ	コケモモ —— ギリシャのイダ山のブドウ という意味の学名をもらっています。 高山植物にはヨーロッパと共通した種類が多いのです。	中
34	イワウメ	イワウメ	中
35	ミヤマダイコンソウ	かわいた石少礫地にも高山植物は住みます。 これは ミヤマダイコンソウ	中
36	コマクサ	コマクサ	中

37 コマクサ (クローズアップ)	(説明ナシ)	大
38 立札	お花畑の所々に立札が立っています。 「高山植物を大切にしましょう」 「採集してはいけません」 なぜ高山植物をとってはいけないのでしょうか	中
39 逃げゆくマンモス	大昔——いまから50万年もの遠い昔に、寒い冷たい時代が、くりかえし地球をおそいました。この氷河時代に、北半球では氷が広い土地をおおい、生物たちは住みよい土地を求めて南へ移動しました。当時日本は大陸と陸つづきだったので、いろいろな生物が逃げこんできました。	大 中
40 カラコルム氷河 1	氷河時代は今から1万年ほど前に終りをつげ、地球に春がやってきました。氷河は北や高い山に退却し、生物は新天地を求めて北へひろがってゆきました。	小

41 カラコルム氷河	この時、氷河の近くに生活していた寒さの好きな一群の生物も北方へ帰り、 あるものは似たような土地を求めて、山の上へ上へと のぼってゆきました。	小
42 カールと地図	日本アルプスには今では氷河はみられませんが、当時の爪跡である カール が残って います。稜線のすぐ下のスリバタ形に雪ののこっている所です。地図の赤線のある山脈に、 こうした氷にけづられた地形がのこっています。 北海道の目高山脈にも、日本アルプスと同じように、頂 ^{いとうぎ} 近くに、かつての氷河時代に 氷河の近くで起ったと同じような気候が小規模ながらつゞき、高山植物がのこっています。	小
43 イワブクロ	——長い冬と 短い春—— ——紫外線—— ——雨と雪とけ水に洗われて 全い土—— ——強い風——	大
44 メアカンキンバイ	かつては山裾や山腹に大群落をつくっていた、赤や黄や白い花房—— それが山の上においつめられ、石ころと雪の原 ^{はら} は ^ら に 雑居している。	大

45	この寄合世帯がお花畑なのです	
クモマユキノシタ	クモマユキノシタ	中
46		
エゾコザクラ	エゾコザクラ	中
47		
シコタンソウ	シコタンソウ	中
48	今荒らすならば、お花畑はいたたび元の美しさにかえらないでしょう。 亡びる一歩手前なのです。 高山植物を大切に守ってゆきましょう	中
コバケイソウ		

49

夕暮の風景

山に夕暮がきました

中

50

終

大

ウツボ プロダクション 姉妹会社

博物館業務の一切は

◇ ウツボ工芸社

是非当チェーン会社へ御参向下さい

◇ ウツボ美術印刷KK

遅くて汚くて下手!!

◇ プロ・バトミントン・チーム

"ウツボ カラブリアンズ"

◇ ウツボフォトスタジオ

